

公立大学協会は、
全国 76 すべての公立大学で
組織されています。



The Japan Association of Public Universities

公立大学協会

公立大学協会ニューズレター Vol.2 No.2

2007年8～9月号 / 2007年9月19日発行 (通刊第8号)

【発行責任者】佐々木 雄太 (公立大学協会会長 / 愛知県立大学長)

【編集責任者】中田 晃 (公立大学協会事務局長代行)

〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-13 虎ノ門吉荒ビル9F

TEL(03)3501-3336 FAX(03)3501-3337

E-mail: jimmu@kodaikyo.jp URL: http://www.kodaikyo.jp/

シンポジウム「高等教育の市場化における大学団体の役割と課題」

国公私の大学団体が集い、大学団体の役割について意見交換

去る8月7日、東北大学高等教育開発推進センター主催によるシンポジウム「高等教育の市場化における大学団体の役割と課題」が、東京駅日本橋口のサピアタワー・東北大学会議場にて開催された。

このシンポジウムは、市場メカニズムのもとで高等教育の公共性維持に多様な役割を果たしている英国の大学団体に注目し、日本における大学団体の機能と役割を考えることを目的としたもので、パネリストとして国公立の各大学協会・連盟及び大学基準協会の役員が一堂に会した。

公立大学協会からは佐々木雄太会長(愛知県立大学長)がパネリストとして参加し、プレゼンテーションを行った。

* * *

はじめに、英国オープンユニバーシティ高等教育研究情報センターのウィリアム・ロック副センター長による講演「イギリスにおける学長団体の機能とその課題」が行われ、英国の高等教育政策の形成や実行に対して大きな影響を有してきた「中間団体(高等教育に対する補助金分配を担う審議機関や高等教育機関の代表団体等)」の役割について述べるとともに、中間団体の一例として、学長の全国団体である Universities UK (UUK) の機能や組織、高等教育の市場化、グローバル化の進行の中で直面している課題等が紹介された。

午後のシンポジウムでは、「日本における大学団体の役割と課題」とし

て、日本私立大学協会の小出秀文事務局長、大学基準協会・大学評価委員会の鈴木典比古委員長(国際基督教大学長)、国立大学協会の赤岩英夫専務理事、日本私立大学連盟の白井克彦副会長(早稲田大学総長)、そして当協会の佐々木雄太会長(愛知県立大学長)が、それぞれの大学団体の概要や沿革、現在の取組みの内容や課題などの発表を行った。(写真:公立大学協会の発表)



各団体からの発表の後、天野郁夫東京大学名誉教授とロック氏からコメントがなされた。

天野名誉教授からは、事前規制から事後チェックへという高等教育政策の大転換の中で、インフラ、セーフティーネットとしての大学団体の役割は重要であり、親睦団体から戦う団体への変化が求められていること、教育・研究評価、教育課程の再構築、FD・SDへの対応、経営・財務の改善などの問題に対して、大学単体ではなく大学団体において取り組んでいくべきとの認識が示された。

また、ロック氏からは、大学は教育・研究機関としても、共同体としても

大きな変化の中にあり、外部との連携が重要性を増しているということ、その連携を担う大学団体においては、ロビイングや政策提言、研究分析、広報などの役割を担うために組織の専門化が求められていること等のコメントがあった。

* * *

最後にディスカッションが行われ、大学団体間、あるいは地域におけるコンソーシアムなど、国公私の枠を超えた「連携」について議論が行われた。当協会の佐々木会長からは、「これまで設置形態や予算の出所の違いから大学団体間での連携はあまり見られなかったが、新しい高等教育政策、グランドデザインが求められている現在、国公私共通で取り組むべき課題を積極的に見出し、協力を進めて行ける可能性がある。」との発言があり(写真)、他の大学団体からも、経済界における経団連のような大学の一大連携を、といった発言が上がるなど、国公私を通じての大学団体連携の重要性が認識されたシンポジウムとなった。



ディスカッションで発言する佐々木雄太会長(中央)

政策委員会、教学委員会、経営委員会の3委員会体制がスタート

各委員会の委員構成及び第1回委員会の協議について

公立大学協会の3つの委員会の第1回会議が開催された(会場はいずれも公立大学協会会議室)。

各委員会は、公立大学協会の3つのミッション「①国や地方自治体の高等教育政策の動向を調査研究し、会員大学に情報を提供するとともに、公立大学を代表して発言する(政策委

員会)。②公立大学の教育、研究及び地域貢献活動の推進を支援する(教学委員会)。③公立大学の経営・マネジメントを支援する(経営委員会)。」に対応して設置されており、各副会長がそれぞれの委員会の委員長となった。また、各委員会のもとに作業部会(WG)を随時設置し、個別の課題

に機動的かつ柔軟に対応するとともに、学長会議等に合わせて拡大委員会を開催し、全学長と協議できる場を設けることとしている。

(下記の概要の他、議事の詳細については、地区協議会等で各大学にお知らせします。)

政策委員会

【委員長】矢田俊文(北九州市立大学長)

【委員】(専門委員を除く)

小林俊一(秋田県立大学長)
杉森みどり(群馬県立県民健康科学大学長)
祖田 修(福井県立大学長)
阪本靖郎(兵庫県立大学副学長)
江里健輔(山口県立大学長)
加藤祐三(公立大学協会相談役)

◆第1回委員会：7月23日(月)

協議では、政府内諸会議における高等教育政策に関する議論動向や道州制の問題、公立大学の広報戦略や地域における国公私のコンソーシアム等、取組むべき論点について幅広い意見交換が行われ、①公的研究費の管理・監査について科学技術作業部会(主査：小林委員)による各大学の取組み状況アンケートを実施すること、②今後の課題を将来像作業部会(主査：矢田委員長)にて整理し、各大学の意見を伺うことが決定された。

〈出席者〉矢田委員長、小林・杉森・祖田・阪本・江里・加藤委員、光本滋専門委員(北海道大学教育学研究院助教)、佐藤邦明専門委員(秋田県東京事務所)、中田事務局長代行

教学委員会

【委員長】今井浩三(札幌医科大学長)

【委員】(専門委員を除く)

中島紀恵子(新潟県立看護大学長)
西野仁雄(名古屋市立大学長)
金児曉嗣(大阪市立大学長)
浅田尚紀(広島市立大学長)
米澤和彦(熊本県立大学長)
中島恭一(公立大学協会相談役)

◆第1回委員会：7月24日(火)

報告事項として、入学者選抜に関連する事項について、中島(恭)委員より報告が行われた。

平成19年度の教学委員会の課題については、入学者選抜と高大接続のあり方を入試作業部会(主査：中島(恭)委員)において協議すること、教育力向上の取組みについて、ファカルティ・ディベロップメント(FD)に加え、スタッフ・ディベロップメント(SD)や教員・職員協働の取組みも含めた事例調査を行うことが決定された。

〈出席者〉今井委員長、中島(紀)・浅田・中島(恭)委員、西野卓郎専門委員(首都大学東京オープンユニバーシティ事務室課長補佐)、光本専門委員、中田事務局長代行

経営委員会

【委員長】赤岡 功(県立広島大学長)

【委員】(専門委員を除く)

馬渡尚憲(宮城大学長)
鶴見尚弘(山梨県立大学長)
丸山利輔(石川県立大学長)
南 努(大阪府立大学長)
草間朋子(大分県立看護科学大学長)
森 正夫(公立大学協会相談役)

◆第1回委員会：7月20日(金)

平成19年度の経営委員会の課題について協議が行われ、能力開発事業として下記のセミナーを実施していくこととなった。

- I 公立大学法人会計セミナー
 - ・9月27日(木)/東京
 - ・10月15日(月)/大阪
- II 公立大学トップセミナー
 - ・10月26日(金)/名古屋
 - ※学長会議の2日目のプログラムに引き続き開催
- III 公立大学経営セミナー
 - ・11月6日(火)/東京
 - ※事務局長連絡協議会の翌日
- IV 公立大学法人セミナー(計画中)
 - ・12月上旬開催を予定

〈出席者〉赤岡委員長、鶴見・草間・森委員、中田事務局長代行

公立大学 News Watch①

○「船舶のディーゼル排ガス プラズマ利用し浄化」(6月22日付・日本経済新聞) ダイハツディーゼル(株)と大阪府立大学などの共同開発で、自動車の排ガス対策に比べ後れていた船舶分野に弾みがつくと期待される。
※なお、大阪府立大学では毎年「活動の歩み」と題し、掲載紙の許諾を得

てマスコミ報道を冊子にまとめて刊行している。最新号(平成18年4月～19年3月分、62ページ)には、計75件の報道記事が採録されている。

* * *

○「存在感高まる地方大学」(7月2日付・日本経済新聞) 日本経済新聞社が調査した大学の地域貢献度ランキングにおいて、地方の国立大学が上位を占める中、北九州市立大学が8

位につけている。

※詳細は『日経グローバル』誌No.79(7月2日号)。北九州市立大学の矢田俊文学長によれば、「学長を中心としてアンケートに本気に対応することが大切」。

会員校の活躍に関するマスコミ報道について、注目記事をピックアップしてご紹介する欄を設けます。各地方紙の報道も含め、メールやFAX、郵送にて事務局までお知らせください。

平成19年度第4回理事会を開催

2007.7.20 公立大学協会会議室

今年度4回目となる理事会が7月20日に開催された。

冒頭、開会に先立ち、文部科学省科学技術・学術政策局調査調整課競争的資金調整準備室の清浦隆室長より「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)について」の説明があった。

また、(有)国大協サービスの藤井昌雄事業部次長から「国立大学法人総合損害保険の概要」についての情報提供も行われ、これらについては、理事会の中で議題5、6として意見交換を行うこととなった。

報告事項として、「1.公立大学協会事務局嘱託の採用のための筆記試験及び面接の判定結果について」、「2.自由民主党大学・大学院小委員会(文部科学部会・文教制度部会合同会議)におけるヒアリングについて」、「3.「学校評価のあり方と今後の推進方策に

ついて」(学校評価の推進に関する調査研究協力者会議の中間とりまとめ)に関する公大協意見の提出について」の3点について、会長より説明が行われた。

続いて、以下の議題について議論が行われた。

- (1) 第3回理事会記録の確認
- (2) 平成19年度の委員会活動について
- (3) 常勤職員の公募について
- (4) 学長会議の開催と議事運営について
- (5) 研究機関における公的研究費の管理・監査の実施基準について
- (6) 損害保険の共同契約について
- (7) 地区協議会の開催と議事運営について
- (8) その他

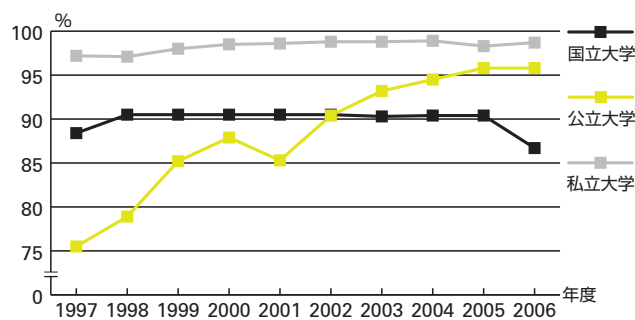
(2)の19年度委員会活動については、各委員長から①19年度重点課題、②当面の取り組み課題、③作業部会の編

成と運営方針並びに委員の構成、についての報告が行われ、課題や検討の方向性についての意見交換を行った。(3)の協会事務局の常勤職員の公募については、募集要領等について審議が行われ、実施が決定されるとともに、事務局職員規程の改定及び就業規則の策定について次回理事会で検討を行うこととなった。(5)の研究機関における公的研究費の管理・監査の実施基準に関しては、対応の不備が文部科学省関係の公的資金の応募欠格要件となることから、協会として会員に留意を促すために、政策委員会の作業部会で各大学の取り組み状況を調査することにした。(6)の損害保険の共同契約については、公立大学で共同で契約する方法について意向調査を行うとともに、運営会議のもとに検討を進めていくこととなった。

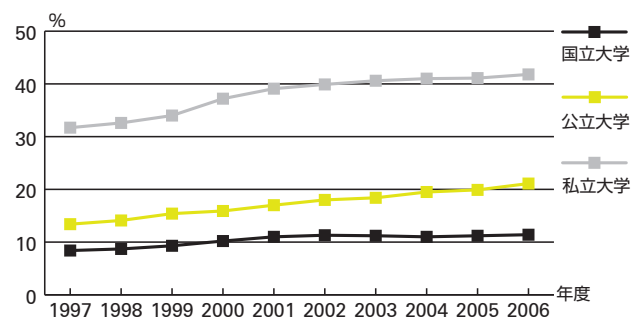
データで見る公立大学⑧ 公立大学の入試(2)

推薦入試を実施している公立大学は10年で大きく増加し、全体の95.8%となり、合格者の全入学者に占める割合も21.1%に達している。また、AO入試も全体の2割を超える公立大学で実施されるようになってきているが、入学者に占める割合は全入学者の1.2%強にとどまっている。

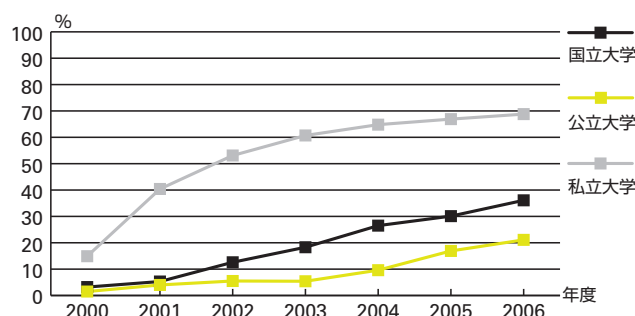
[1] 推薦入試実施大学の割合



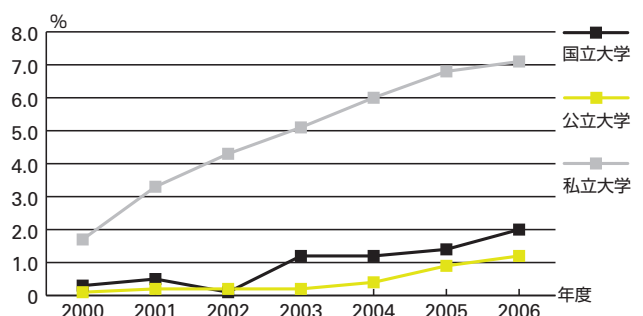
[2] 推薦入試による入学者の全体に占める割合



[3] AO入試実施大学の割合



[4] AO入試による入学者の全体に占める割合



全国公立大学教職員組合連合会第3回定期大会 2007.6.23-24 大阪

昨年7月に結成された全国公立大学教職員組合連合会の第3回定期大会が大阪で開催され、公立大学協会から中田事務局長代行が来賓として出席した。2007年度の運動方針における具体的な取組み事項として、公立大学協会及び全国公立大学設置団体協議会との間で、公立大学のあり方や社会的・地域的役割、人事・評価等の制度について協議を進めていくことが確認された。

全国公立大学設置団体協議会総会 2007.7.5 倉敷チボリ公園アンデルセンホール

54の公立大学設置団体(37の都道府県、14の市、3の一部事務組合及び広域連合)参加のもと、平成19年度の全国公立大学設置団体協議会総会が開催された。協議に先立って、文部科学省高等教育局大学振興課の加藤健課長補佐が大学改革について、総務省自治財政局財務調査課の三橋一彦理事官が地方財政と地方公共団体の財政の健全化について講演を行った。公立大学協会からも中田事務局長代行が公立大学協会の組織と活動について最新の状況を報告した。

提出議題協議においては、大学の社会貢献・地域貢献及びそれに対する設置者の支援、プロパー職員の採用計画、職員の業績評価制度、新たな収入源の確保策、競争的資金の獲得に係る取組み、運営費交付金の算定といったテーマについて、設置団体への調査結果をもとに意見交換が行われた。

公立大学協会の主な活動の記録 2007.6.1 ~ 2007.7.31

6月

- 1日(金)★第1回運営会議/佐々木会長、今井・赤岡・矢田副会長、加藤相談役、中田事務局長代行。
- 4日(月)★研究振興局学術研究助成課 磯谷桂介課長来局、「科学研究費補助金20年度概算要求及び制度改革のポイント(素案)」説明。★事務局長代行、自由民主党文教制度部会合同会議傍聴。
- 5日(火)★『ザ・リエゾン』江崎民二編集長来局。
- 6日(水)★(独)日本学術振興会 宮崎和男審議役来局、「プログラムオフィサー制度の果たす役割についての説明会」について。★(独)日本学術振興会プログラムオフィサー制度の果たす役割についての説明会」会員大学へメール。★事務局長代行、(社)国立大学協会、日本私立大学協会、大学振興課訪問、自由民主党のヒアリングについて。
- 7日(木)★(独)大学入試センター総務企画部 花崎仁敬情報課長来局、全国大学入学者選抜研究連絡協議会第2回大会の結果について。★第3回理事会。
- 11日(月)★内閣官房行政改革推進室 倉繁英樹企画官、古瀬潔補佐来局、国家公務員の配置転換、採用抑制等に関する全体計画について。★事務局長代行、アジア太平洋大学交流機構(UMAP)日本国内委員会WG出席。
- 12日(火)★佐々木会長、今井副会長、加藤相談役、事務局長代行、自由民主党大学・大学院小委員会(文部科学部会・文教制度部会合同会議)出席。
- 13日(水)★札幌市市民まちづくり局企画部企画課 脇田英樹市立大学担当係長来局。★事務局長代行、(社)国立大学協会総会傍聴。★関係団体へ公立大学協会新体制挨拶状発送。
- 15日(金)★大学振興課 加藤健課長補佐(併)公立大学専門官、「地方大学の経済効果について」。★大学振興課大学入試室 児島昌樹室長補佐、八島崇入試第一係長、「中国人帰国者特別選抜について」。★「第3回理事会記録・資料及び自由民主党大学・大学院小委員会での意見表明「21世紀の公立大学像」会員大学へ郵送。
- 18日(月)★佐々木会長、加藤相談役、公立大学協会事務局嘱託職員の採用面接。
- 20日(水)★(株)損保ジャパン企画開発部 森口篤前課長、岡崎克彦課長来局。
- 21日(木)★事務局長代行、第1回就職問題懇談会(文部科学省)傍聴。
- 22日(金)★中島相談役来局、公立大学協会教学委員会について。★中島相談役、(独)大学入試センター

運営審議会出席。

- 23日(土)★事務局長代行、全国公立大学教職員組合連合会第3回定期大会(大阪)出席。
- 26日(火)★(株)旺文社 大塚憲一大学進学インフォメーション編集長来局。★事務局長代行、(社)国立大学協会訪問、協会の法人格の取得について。★(社)国立大学協会 諸橋輝雄常務理事来局、退任あいさつ。
- 28日(木)★事務局長代行、県立広島大学訪問。
- 29日(金)★事務局長代行、下関市立大学、北九州市立大学訪問。北九州市立大学大学院マネジメント研究科 永津美裕教授。★ザ・リエゾン 江崎民二編集長来局。
- 7月
- 2日(月)★横浜市立大学アドミッションズセンター 川村礼子担当課長、他2名来局。
- 3日(火)★『ザ・リエゾン』江崎民二編集長、原田耕作主幹来局。★科学技術・学術政策局調査調整課競争的資金調整準備室 吉野明課長補佐、「公的資金の管理・監査について」。
- 4日(水)★(有)国大協サービス、「公立大学法人の損害保険等について」。★中島相談役来局、入試に関する検討課題について。
- 5日(木)★事務局長代行、全国公立大学設置団体協議会(岡山県)出席。
- 6日(金)★「公立大学協会ニュースレターVol.2 No.1(通巻第7号)」会員大学へ郵送。
- 10日(火)★みすず監査法人 関口恭三公認会計士来局。★大学振興課 中山孝一公立大学係長来局、「H19年度公立大学実態調査表の作成説明会」打ち合わせ。
- 12日(木)★佐々木会長、今井・赤岡・矢田副会長、加藤相談役、事務局長代行、新任あいさつ。(総務省自治財政局 久保信保局長、文部科学省大臣官房 合田隆史総括審議官、土屋定之審議官、久保公人審議官、小松規次郎人事課長、吉尾啓介国際課長、高等教育局 清水潔局長、中岡司大学振興課長、加藤健課長補佐(併)公立大学専門官、中山孝一公立大学係長)。★第2回運営会議/佐々木会長、今井・赤岡・矢田副会長、加藤相談役、事務局長代行。
- 13日(金)★医科歯科部会開催。★平成19年度公立大学実態調査説明会開催、56校・68名参加。★「平成21年度入試実施要項、実施細目の意見について(照会)」会員大学へ郵送。★山梨県立大学 鶴見尚弘学長来局、第3回理事会について。

- 18日(水)★(財)産業教育振興中央会 鶴田宏進路指導対策委員、郡司常雄同委員、鈴木幸男総務部長来局、大学入学者選抜に関する要望書。★佐々木会長、加藤相談役来局、理事会について打ち合わせ。
- 19日(木)★あす監査法人 路谷竹生公認会計士来局、平成19年度公立大学法人会計セミナーについて打ち合わせ。★宇野顧問来局。
- 20日(金)★第1回経営委員会。★第4回理事会。
- 23日(月)★第1回政策委員会。★学生支援課 阿部正一課長補佐、厚生係・活動支援係 市川裕千係長来局、平成19年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」公募について説明。★研究振興局振興企画課学術企画室 高橋室長補佐来局、「平成18年度大学等における科学技術・学術活動実態調査報告について」の説明。
- 24日(火)★第1回教学委員会。
- 25日(水)★静岡県立大学 稲山前副学長来局。
- 26日(木)★事務局長代行、(学)立命館 本間政雄総長訪問、「公立大学トップセミナー」について。★事務局長代行、UMAP日本委員会出席。
- 27日(金)★大学振興課大学改革推進室 丸岡充改革支援第二係長来局、平成19年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の審査結果について。★「第4回理事会報告」会員大学へ郵送。
- 31日(火)★佐々木会長、加藤相談役来局、東北大学主催シンポジウム打ち合わせ。★みすず監査法人 関口恭三公認会計士来局、「公立大学法人会計セミナー」について。★専門教育課 片岡洋企画官、林剛史企画係長来局、「産・学双方向の対話と行動を実現する大学教育産学連携の枠組み作り～産学人材育成パートナーシップの推進～」について佐々木会長へ説明。
- ※役職名等は全て日付当時
- ※訪問、来局の機会が多い文部科学省の省名及び高等教育局の局名については表記を略しています

事務局より

今回は試験的に小さなスペースでの掲載となりましたが、会員校の活躍や特色ある取組みについて報じた新聞・雑誌記事等を紹介する欄を設けることにいたしました。協会からの会議報告やお知らせのみではなく、会員校間の情報交流にも資する内容となるよう、紙面の整備を図っていききたいと思います。